

科目名	スタイリストワークⅡ				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 企業とのコラボ企画2本柱を基に企業と連携した授業で広告・スタイリングを学ぶ 2. スタイリングを活かしたショー企画を作成しファッションショー形式での発表を行う 3. 卒業制作に向けたショーのプランニングを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	一年次で得た知識に磨きをかけ、クリエイティブなプランニング、企業向けに自分をアピールする作品作り。最新のスタイリングを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
2	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
3	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
4	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
5	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
6	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
7	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
8	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
9	ピアンベール衣装・撮影		ピアンベールの衣装をスタイリングし広告写真撮影		
10	ピアンベール衣装・撮影		ピアンベールの衣装をスタイリングし広告写真撮影		
11	ピアンベール衣装・撮影		ピアンベールの衣装をスタイリングし広告写真撮影		
12	ファッションショー企画 フィットティング/美少女図鑑スタイリング組み		ファッションショー企画のコーディネート組み		
13	ファッションショー企画 フィットティング/美少女図鑑スタイリング組み		ファッションショー企画のコーディネート組み		
14	スタイリング修正		ファッションショー企画のコーディネート組み		
15	ムービーメーカーを使用した動画制作課題広告作成		動画広告スタイリングを作成 企画書		
16	ムービーメーカーを使用した動画制作課題広告作成		動画広告スタイリングを作成 企画書		
17	ムービーメーカーを使用した動画制作課題広告作成		動画広告スタイリングを作成 企画書		
18	ムービーメーカーを使用した動画制作課題広告作成		動画広告スタイリングを作成 撮影		
19	卒業制作に向けたファッションショーの企画書作成の方法		様々なショーになるモチーフを選び発想する方法		
20	卒業制作に向けたファッションショーの企画書作成の方法		ショーの企画書作成・夏休み課題		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	スタイリストワークII				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 企業とのコラボ企画2本柱を基に企業と連携した授業で広告・スタイリングを学ぶ 2. スタイリングを活かしたショー企画を作成しファッションショー形式での発表を行う 3. 卒業制作に向けたショーのプランニングを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	一年次で得た知識に磨きをかけ、クリエイティブなプランニング、企業向けに自分をアピールする作品作り。最新のスタイリングを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショー企画について説明		ショーの企画・全体について説明		
2	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
3	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
4	ショー企画書作成 プレゼン指導		ファッションショー企画書作成 プレゼンテーションコツ		
5	ショー企画書プレゼンテーション審査		クラス内プレゼンテーション審査		
6	ショースタイリング・映像作成		スタイリング制作		
7	ファッションショーフィッティング①		モデルに衣裳フィッティング		
8	ファッションショーフィッティング②		モデルに衣裳フィッティング		
9	演出プラン・メイクプラン作成1		演習メイクプラン企画		
10	演出プラン・メイクプラン作成2		演習メイクプラン企画		
11	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
12	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
13	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
14	ショー用撮影1		ファッションショーのスタイリングを撮影		
15	ショー用撮影2		ファッションショーのスタイリングを撮影		
16	ショー用撮影3		ファッションショーのスタイリングを撮影		
17	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
18	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
19	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
20	最終リハーサル		ショーの衣裳を着たスタイリングリハーサル		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	メイクテクニックⅡ				
担当教員	阿部 見奈子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1 顔の骨格の仕組みを修得 2 トレース技術を修得 3 メイクテクニックⅠの知識を基礎に技術力を上げる。				
学習目標 (到達目標)	1.骨格を理解し、立体的にメイクを表現できる。2.テーマに合わせたトレース、メイクを考え、表現し、施術できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	顔のパーツバランス、骨格と立体1		ワークシート作成、メイクテクニックⅠ技術チェック		
2	顔のパーツバランス、骨格と立体1		ワークシート作成、メイクテクニックⅠ技術チェック		
3	骨格と立体2		ワークシート作成		
4	骨格と立体3		春夏秋冬の色彩を意識しワークシート作成		
5	骨格と立体3		春夏秋冬の色彩を意識しワークシート作成		
6	基礎技術 着物メイク1		着物の柄に合わせたヘアメイクを立案		
7	基礎技術 着物メイク1		着物の柄に合わせたヘアメイクを立案		
8	基礎技術 着物メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
9	基礎技術 着物メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
10	基礎技術 ウエディングメイク1		ウエディングドレスに合わせたヘアメイク立案		
11	基礎技術 ウエディングメイク1		ウエディングドレスに合わせたヘアメイク立案		
12	基礎技術 ウエディングメイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
13	基礎技術 ウエディングメイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
14	基礎技術 年代別メイク1		50年代～80年代の時代背景、メイクを調べ立案		
15	基礎技術 年代別メイク1		50年代～80年代の時代背景、メイクを調べ立案		
16	基礎技術 年代別メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
17	基礎技術 年代別メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
18	基礎技術 動物メイク1		動物の顔、特徴(色、柄)を観察し現代風に立案		
19	基礎技術 動物メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
20	基礎技術 動物メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			メイクテクニックⅠで学んだ事をしっかりと意識し、実習に臨むこと。全ての実習項目に出席し、全てのワークシートを提出すること。		
実務経験教員の経歴	ビューティーアドバイザーとして美容現場に7年間係っていた				

科目名	メイクテクニックⅡ				
担当教員	阿部 見奈子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1 色々なメイクの応用力をあげる。 2 メイクセラピーを理解する。				
学習目標 (到達目標)	1.テーマに合わせたトレース、メイクを考え表現し、施術できる。2.メイクセラピー検定合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイクセラピー入門(3級対策)、配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	基礎技術 特殊メイク		ゼラチン、絵の具でアザ、やけど作成		
2	基礎技術 特殊メイク		ゼラチン、絵の具でアザ、やけど作成		
3	メイクセラピー検定対策		指定教科書P4~17		
4	メイクセラピー検定対策		指定教科書P18~25		
5	メイクセラピー検定対策		指定教科書P26~33		
6	メイクセラピー検定対策		指定教科書P34~43		
7	メイクセラピー検定対策		指定教科書P44~54		
8	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
9	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
10	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
11	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
12	基礎技術 色メイク1		その色が持つイメージをヘアメイク立案		
13	基礎技術 色メイク1		その色が持つイメージをヘアメイク立案		
14	基礎技術 色メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
15	基礎技術 色メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
16	基礎技術 自由課題1		学んだ技術を定着させ、好きなテーマでのメイク立案		
17	基礎技術 自由課題2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
18	基礎技術 自由課題3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
19	基礎技術 自由課題4		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
20	基礎技術 自由課題5		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学んだ事をしっかりと意識して実習に臨むこと。全ての実習項目に出席し、全てのワークシートを提出すること。		
実務経験教員の経歴		ビューティーアドバイザーとして美容現場に7年間係っていた			

科目名	コマーシャルフォト				
担当教員	加藤 真梨		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	<p>1. 1年生で身につけた撮影技術を基に様々な写真を撮影する。</p> <p>2. 撮影した写真をフォトショップを使用し加工・編集する技術を身につける。</p> <p>3. 最終課題で自分の写真作品集を製作</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>学生全員が写真でなにができるのか、を知る事で自分のクリエイティブ、表現の幅を広めれる事を目標とする。また、写真を撮ると言う事で人生観が広がる事が狙いである。クリエイティブとはなにか、プロに触れる事で、本物を知る事で面白い大人に会う事で夢を見れるような授業である事とする。広告、クリエイティブには、企画力、プランニングが一番大事でそれを生み出すノウハウを学ぶ授業である。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	カメラのおさらい、撮影提出		三分割・額縁・レンズ・光など復習と撮影		
2	写真集課題①自由作品 撮影		バランスを考える。色をくすませない。三分割		
3	露出補正・シーン別の撮影方法		様々な写真のテクニックを学ぶ「露出補正・シーン」		
4	風景を上手に撮影する方法		風景の写真撮影の技術を学ぶ		
5	夜の撮影・暗い空間での撮影		暗い場所や夜景などでの撮影方法を学ぶ		
6	集合写真と画像編集		集合写真の構成や撮影後の画像編集のテクニック		
7	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工①		フォトショップを使用した編集方法		
8	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工②		フォトショップを使用した編集方法		
9	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工③		フォトショップを使用した編集方法		
10	写真集課題②撮影「つなぐ」企画立案・構図		写真集課題「つなぐ」の企画立案・構成		
11	写真集課題②撮影「つなぐ」撮影		写真集課題「つなぐ」の撮影		
12	写真集課題③撮影「色」企画立案・構図		写真集課題「つなぐ」の企画立案・構成		
13	写真集課題③撮影「色」撮影		写真集課題「つなぐ」の撮影		
14	写真集課題④撮影「人」企画立案・構図		写真集課題「人」の企画立案・構成		
15	写真集課題④撮影「人」撮影		写真集課題「人」の撮影		
16	ファッションショー洋服撮影企画立案・構図		ファッションショーの作品広告の撮影企画立案		
17	ファッションショー洋服撮影企画立案・構図		ファッションショーの作品広告の撮影企画立案		
18	ファッションショー洋服撮影 1		ファッションショーの作品広告の撮影		
19	ファッションショー洋服撮影 2		ファッションショーの作品広告の撮影		
20	ファッションショー洋服撮影 3		ファッションショーの作品広告の撮影		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>実技課題90%、学習意欲10%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名	コマーシャルフォト				
担当教員	加藤 真梨		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 1年生で身につけた撮影技術を基に様々な写真を撮影する。 2. 撮影した写真をフォトショップを使用し加工・編集する技術を身につける。 3. 最終課題で自分の写真作品集を製作				
学習目標 (到達目標)	学生全員が写真でなにができるのか、を知る事で自分のクリエイティブ、表現の幅を広めれる事を目標とする。 また、写真を撮ると言う事で人生観が広がる事が狙いである。クリエイティブとはなにか、プロに触れる事で、本物を知る事で面白い大人に会う事で夢を見れるような授業である事とする。広告、クリエイティブには、企画力、プランニングが一番大事でそれを生み出すノウハウを学ぶ授業である。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	値をシーンに応じて使い分ける撮影		カメラの値による撮影の違いを理解し撮影する		
2	ホワイトバランスを利用した天候別撮影方法		ホワイトバランスを変更した撮影方法を知る		
3	レイヤーを考えた撮影方法		レイヤーや構図を考え撮影する		
4	F値の変化による撮影方法		F値を変化させることで撮影イメージの変化をさせる		
5	スローシャッター1/10で撮影してみる		スローシャッターで撮影してみる。		
6	視点を変えた撮影方法 高低差をつけて撮影してみる		視点を変えた高低差を意識した撮影方法を学ぶ		
7	水平・垂直を意識して撮影してみる		写真撮影で水平・垂直を意識した撮影		
8	背景を意識し絞りを考えて撮影		背景と被写体のバランスを考え撮影してみる		
9	写真集課題④撮影「街」撮影企画・立案構成		課題「街」をテーマに撮影プラン企画書作成		
10	写真集課題④撮影「街」撮影		課題「街」をテーマに撮影		
11	写真集課題⑤撮影「風景」撮影企画・立案構成		課題「風景」をテーマに撮影プラン企画書作成		
12	写真集課題⑤撮影「風景」撮影		課題「風景」をテーマに撮影		
13	写真集課題⑥撮影「笑顔」撮影企画・立案構成		課題「笑顔」をテーマに撮影プラン企画書作成		
14	写真集課題⑥撮影「笑顔」撮影		課題「笑顔」をテーマに撮影		
15	写真集撮影の編集作業1		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
16	写真集撮影の編集作業2		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
17	写真集撮影の編集作業3		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
18	写真集撮影の編集作業4		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
19	作品集のプレゼンテーションまとめ		出来上がった写真集を基にコンセプトや写真についてプレゼンテーション		
20	作品集のプレゼンテーションまとめ		出来上がった写真集を基にコンセプトや写真についてプレゼンテーション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名		ブライダル企画					
担当教員		渋谷 千恵子		実務授業の有無		○	
対象学科		ファッションスタイリスト科 (ブライダルコース)		対象学年		2	
必修・選択		必修		単位数		3	
授業形態		対面授業のみ		対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方		ブライダルプランナーの職業理解とロールプレイング実習などで、実践的な知識を習得する。 ブライダル企画のディスプレイを通して、ブライダルの演出方法なども学ぶ。					
学習目標 (到達目標)		ブライダルプランナーの知識を身に付け、ブライダル業界の知識を習得する。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料		ブライダルプランナーテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	ブライダルプランナーの仕事・ウェディングとは・プランナーとは・プランナーに求められることは・ブライダルマナー・信頼と説得力を得るための方法			プリント配布。プランナー業の理解			
2	ブライダルプランナーの仕事・ウェディングとは・プランナーとは・プランナーに求められることは・ブライダルマナー・信頼と説得力を得るための方法			プリント配布。信頼と説得力を得るための方法			
3	ジュンブライドディスプレイ企画。ターゲットブライダルイメージなどパワーポイントでの作成。			パワーポイントでの企画作成。ウェディング雑誌・ブライダルブックなどの準備			
4	ジュンブライドディスプレイ企画。ターゲットブライダルイメージなどパワーポイントでの作成。			パワーポイントでの企画作成。ウェディング雑誌・ブライダルブックなどの準備			
5	ジュンブライド企画のプレゼンテーションを行う。			プレゼンテーション評価を行い、プランナー1名に決定。			
6	立案決定。立案の詳細を再度説明。制作担当ごとに振り分け制作準備			ディスプレイ制作担当毎に、作品の見積もりと買い出し。			
7	ディスプレイ制作準備			ディスプレイ制作担当毎に、作品の見積もりと買い出し。			
8	ディスプレイ制作準備			ディスプレイ制作担当毎に、作品の見積もりと買い出し。			
9	ディスプレイ制作準備			ディスプレイ制作担当毎に、作品の見積もりと買い出し。			
10	ジュンブライド・ディスプレイ制作			ジュンブライドディスプレイ完成。			
11	ヘアリング・アイズブレイク・質問技法・アサーション・クロージング・ロールプレイングとその効果・説得力のあるプレゼンテーションとは。			テキストP26～P32			
12	ヘアリング・アイズブレイク・質問技法・アサーション・クロージング・ロールプレイングとその効果・説得力のあるプレゼンテーションとは。			テキストP26～P32			
13	新規接客営業・新規接客の重要性・新規接客の流れ・申し込み手続き・			テキストP33～P39			
14	新規接客営業・新規接客の重要性・新規接客の流れ・申し込み手続き・			テキストP33～P39			
15	アプローチの仕方・顧客別タイプ別提案方法・クロージングテクニック			テキストP40～P46			
16	アプローチの仕方・顧客別タイプ別提案方法・クロージングテクニック			テキストP40～P46			
17	挙式・披露宴のプランニング			テキストP47～P59			
18	挙式・披露宴のプランニング			テキストP47～P59			
19	ブライダルプランナー ロールプレイング実習①			プランナーと顧客の役割でロールプレイング実習を行う。			
20	ブライダルプランナー ロールプレイング実習②			プランナーと顧客の役割でロールプレイング実習を行う。			
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
企画書・プレゼンテーション30%、ディスプレイ制作30%、ロールプレイング30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。			
実務経験教員の経歴		ブライダル業界に30年以上の実務経験があり、司会業、非常勤講師も携わっている。					

科目名	ブライダル企画				
担当教員	渋木 千恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科 (ブライダルコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	ブライダルプランナーの職業理解とロールプレイング実習などで、実践的な知識を習得する。 ドレスのお直しで縫製の仕方を習得する。 和装打掛の着付実習。 ブライダル企画のディスプレイを通して、ブライダルの演出方法なども学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ブライダルプランナーの知識を身に付け、ブライダル業界の知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダルプランナーテキスト・プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ブライダルプランナー ロールプレイング実習③		プランナーと顧客の役割でロールプレイング実習を行う。		
2	ブライダルプランナー ロールプレイング実習④		プランナーと顧客の役割でロールプレイング実習を行う。		
3	ブライダルプランナー ロールプレイング実習⑤		プランナーと顧客の役割でロールプレイング実習を行う。		
4	ブライダルプランナー ロールプレイング実習⑥		プランナーと顧客の役割でロールプレイング実習を行う。		
5	ドレスお直し実習①		ミシン縫いの練習。直線縫い・カーブ・ジグザグ縫い		
6	ドレスお直し実習②		手縫い実習。アイロンのかけ方・まつり縫い		
7	ドレスお直し実習③		手縫い実習。ボタン付けの仕方		
8	ドレスお直し実習④		手縫い実習。スプリングホック・ホックの付け方		
9	ドレスお直し実習⑤		ミシン実習。三つ折り縫い、アイロンかけ		
10	打掛着付の着付け方実習		打掛の着付け方を習得		
11	打掛着付の着付け方実習		打掛の着付け方を習得		
12	打掛着付の着付け方実習		打掛の着付け方を習得		
13	打掛着付の着付け方実習		打掛の着付け方を習得		
14	打掛着付の着付け方実習		打掛の着付け方を習得		
15	和装飾ディスプレイ企画。ターゲットブライダルイメージなどパワーポイントでの作成。		パワーポイントでの企画作成。ウェディング雑誌・ブライダルブックなどの準備		
16	和装飾ディスプレイ企画。ターゲットブライダルイメージなどパワーポイントでの作成。		パワーポイントでの企画作成。ウェディング雑誌・ブライダルブックなどの準備		
17	和装飾ディスプレイ企画。プレゼンテーション。		プレゼンテーション評価を行い、プランナー1名に決定。		
18	和装飾ディスプレイ企画。ディスプレイ準備		ディスプレイ制作担当毎に、作品の見積もりと買い出し。		
19	和装飾ディスプレイ企画。ディスプレイ準備		ディスプレイ制作担当毎に、作品の見積もりと買い出し。		
20	和テイストディスプレイ制作		和テイストディスプレイ完成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
企画書・プレゼンテーション20%、ディスプレイ制作30%、ロールプレイング20%、着付20%、縫製課題10%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。		
実務経験教員の経歴	ブライダル業界に30年以上の実務経験があり、司会業、非常勤講師も携わっている。				

科目名	イラストレーターフォトショップ				
担当教員	加藤 真梨		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.フォトショップの基本操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの基本的な操作方法を理解しツールを使えるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インストール		インストール作業		
2	インストール		インストール作業		
3	フォトショップとは		導入：P2～8		
4	基本操作		起動とファイル：P10～21		
5	基本操作		画面表示と色の選択：P22～31		
6	選択範囲の概念		選択ツール：P32～40		
7	選択範囲の概念		その他の選択：P41～45		
8	画像の移動と変形		解像度とサイズ：P46～52		
9	画像の移動と変形		コピー&ペースト：P53～59		
10	カラーの概念		カラーモード：P60～64		
11	カラーの概念		色調補正：P65～71		
12	ペイントツール		ペイント系のツール：P72～96		
13	ペイントツール		ペイント演習：P97		
14	レイヤー操作		レイヤー機能：P98～100		
15	レイヤー操作		レイヤー機能：P101～103		
16	レイヤー操作		レイヤー機能：P104～107		
17	レイヤー操作		レイヤー機能：P108～111		
18	テキストツール		テキストの入力と編集：P128～130		
19	テキストツール		テキストの入力と編集：P131～134		
20	テキストツール		演習P135		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペイントの演習50%・テキストの演習50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名	イラストレーターフォトショップ				
担当教員	加藤 真梨		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.フォトショップの応用操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの応用操作方法を理解しコラージュマップの作成や写真の合成ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フィルターについて		フィルターの概要：P136～151		
2	画像編集・フォトタッチ		色調補正：P164～180		
3	画像編集・フォトタッチ		写真補正演習：P181		
4	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P182～187		
5	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P188～193		
6	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P194～198		
7	ロゴデザイン		ロゴデザイン演習：P199		
8	カード、ステーションナリーデザイン		ポップ制作：P200～207		
9	カード、ステーションナリーデザイン		ポップ制作：P208～215		
10	フォトコラージュ		写真の合成①：P216～221		
11	フォトコラージュ		写真の合成②：P222～227		
12	フォトコラージュ		写真の合成③：P228～233		
13	オリジナルポートフォリオ制作		課題画像加工		
14	オリジナルポートフォリオ制作		ページ構成・レイアウト		
15	オリジナルポートフォリオ制作		コラージュ・合成作成		
16	オリジナルポートフォリオ制作		テキスト・ロゴマーク配置		
17	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
18	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
19	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・提出		
20	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
オリジナルポートフォリオ100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名	ブライダルコーディネーター検定				
担当教員	洪木 千恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科 (ブライダルコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. ブライダルコーディネーター技術検定取得を目指す 2. ブライダルコーディネーターとしての必要な知識と能力を身につける 3. ブライダルビジネスにおいてお客様のニーズをくみ取り、ブライダルサービスを提供できる知識を身につける				
学習目標 (到達目標)	ブライダルコーディネーター技術検定取得をめざす				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダルコーディネーター テキスト スタンダード				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	結婚の定義・結婚の法廷意義・結婚の成立・婚姻の要件・結婚に関する言葉とその定義・日本の結婚状況		テキストP8～P12		
2	日本の結婚式の歴史・宗教と結婚式・結婚に関する風習・いわれ		テキストP13～P19		
3	欧米の結婚式の歴史・キリスト教の結婚式・キリスト教の結婚式・		テキストP20～P25		
4	欧米の結婚式・その他の宗教と結婚式		テキストP26～P32		
5	ブライダルビジネス・ブライダル市場・市場規模・市場の挨拶		テキストP32～P36		
6	ブライダル業種・ホテル・専門式場・ゲストハウス・レストラン・料亭・旅館・その他の会場・神社・寺院・教会		テキストP36～P39		
7	ブライダル関連業種・婚活ビジネス・ブライダルエージェント・プロデュース会社・フリープランナー・ウェブサイト・旅行会社・旅行代理店・衣装・ジュエリー・ヘアメイク・フラワー・結婚情報誌		テキストP40～P459		
8	ブライダルエリアの特性(北海道・東北・関東・東海・北陸・関西・四国・九州・沖縄)		テキストP41～P47		
9	ブライダル業界の1年と集客システム		テキストP48～P51		
10	ブライダルの基礎・見合と婚約(見合・婚約・婚約記念品)		テキストP52～P57		
11	結納・婚約式(結納・婚約式・婚約披露パーティー・両家顔合わせ)		テキストP58～P68		
12	結納・婚約式(結納・婚約式・婚約披露パーティー・両家顔合わせ)		テキストP58～P68		
13	ブライダル準備(結婚までのスケジュール・日時・会場・挙式スタイルの検討)		テキストP69～P70		
14	ブライダル準備(結婚までのスケジュール・日時・会場・挙式スタイルの検討)		テキストP69～P70		
15	キリスト教式(カトリックとプロテスタント・プロテスタント式次第の一例・カトリック式次第の一例)		テキストP71～P75		
16	キリスト教式(カトリックとプロテスタント・プロテスタント式次第の一例・カトリック式次第の一例)		テキストP71～P75		
17	神前式(歴史と現状・仏前式次第の一例) 仏前式(歴史と現状・仏前式次第の一例)		テキストP76～P81		
18	神前式(歴史と現状・仏前式次第の一例) 仏前式(歴史と現状・仏前式次第の一例)		テキストP76～P81		
19	人前式・シビル・マレージ・披露宴(披露宴スタイル・時間帯・進行) 海外ウェディングと新婚旅行・二次会		テキストP82～P90		
20	人前式・シビル・マレージ・披露宴(披露宴スタイル・時間帯・進行) 海外ウェディングと新婚旅行・二次会		テキストP82～P90		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業内テスト50%、レポート40%、学習意欲10%					
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。			
実務経験教員の経歴	ブライダル業界に30年以上の実務経験があり、司会業、非常勤講師も携わっている。				

科目名						ブライダルコーディネート検定					
担当教員		渋木 千恵子			実務授業の有無		○				
対象学科		ファッションスタイリスト科 (ブライダルコース)		対象学年		2		開講時期		後期	
必修・選択		必修		単位数		2		時間数		40時間	
授業形態		対面授業のみ		対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業					
授業概要、目的、授業の進め方		1. ブライダルコーディネート技術検定取得を目指す 2. ブライダルコーディネーターとしての必要な知識と能力を身につける 3. ブライダルビジネスにおいてお客様のニーズをくみ取り、ブライダルサービスを提供できる知識を身につける									
学習目標 (到達目標)		ブライダルコーディネート技術検定取得をめざす									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		ブライダルコーディネーター テキスト スタンドード									
回数		授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1		コーディネーター業務とは（セールスの代行・担当制と分担制・コーディネーターの身なり・身振り・言葉使い）				テキストP94～P100					
2		新規業務（会場選定から成約までのカップルの動き・集客方法・資料請求・問い合わせへの対応・ブライダルフェア・試食会）				テキストP101～P106					
3		ブライダルセールスの特徴（ブライダル商品の特徴・カップルとのコミュニケーション）ホスピタリティー営業（ホスピタリティーとサービスの違い・テーマウェディングの提案）				テキストP107～P110					
4		プランニング（新規客向けのプランニングと成約客向けのプランニング・カスタマイズした商品設計・パッケージプランの案内）プレゼンテーションの手法				テキストP111～P115					
5		新規アフターフォロー（メール・手紙・電話でのフォロー・西来時のフォロー）成約業務（解約内容の確認・成約手続き・成約担当への引継ぎ・クレーム処理）ペーパーワーク				テキストP116～P123					
6		打ち合わせ業務成約時から最終打合せ～当日まで				テキストP124～P127					
7		コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定・衣装の選定（洋装のドレスコード・花嫁ドレス・花婿の洋装と洋装小物）				テキストP130～P141					
8		衣装の選定（花嫁の和装・和装小物・花婿の和装）				テキストP142～P147					
9		ブーケ・フラワーアイテムの選定・ヘアメイク・ネイルアート				テキストP148～P156					
10		会場コーディネート・テーブルコーディネート				テキストP157～P164					
11		ペーパーアイテム・ウェルカムアイテム・料理・飲物				テキストP165～P174					
12		披露宴の基本演出				テキストP175～P181					
13		引き出物・記録・記念アイテム				テキストP175～P187					
14		手配業務・ペーパーアイテム				テキストP188～P191					
15		衣装、ヘアメイク、着付・挙式、披露宴・引出物、引菓子の手配				テキストP192～P198					
16		記録・記念アイテムの手配・装花の手配・当日の業務（結婚式・披露宴当日のコーディネーターの役割）				テキストP199～P204					
17		挙式・披露宴進行表				テキストP205～P212					
18		記録・記念アイテムの手配・装花の手配・当日の業務（結婚式・披露宴当日のコーディネーターの役割・挙式・披露宴進行表）				テキストP199～P212					
19		当日のアテンド業務・テーブルセッティング				テキストP213～P223					
20		当日のサービス業務・花の管理と出回り時期・まとめ				テキストP224～P229 確認テスト					
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
授業内テスト50%、レポート40%、学習意欲10%						全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。					
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
実務経験教員の経歴		ブライダル業界に30年以上の実務経験があり、司会業、非常勤講師も携わっている。									

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科、 ニットデザイン科、 ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	紹介① 友達などの紹介のしかた		プリント1		
2	紹介② 性格と主張		プリント2		
3	紹介		ワークシート1 (紹介)		
4	単数、複数		プリント3		
5	単数、複数		ワークシート2 (単数)、会話		
6	単数、複数		ワークシート2 (複数)、会話		
7	衣服① 名称、色		プリント4		
8	衣服① 名称、色		ワークシート3 (衣服の名称)		
9	衣服① 名称、色		ワークシート4 (衣服の名称)		
10	衣服② 動詞、形容詞		プリント5		
11	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート5 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
12	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート6 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
13	衣服③ 形容詞		プリント6、会話		
14	衣服③ 形容詞		プリント7		
15	衣服③ 形容詞		プリント8		
16	衣服③ 形容詞		文章作成		
17	衣服③ 形容詞		復習、会話		
18	復習		ワークシート7		
19	復習		ワークシート8		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科、 ニットデザイン科、 ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前置詞		プリント9、リスニング		
2	前置詞		プリント9、会話		
3	前置詞		ワークシート9 (文章作成)		
4	前置詞		ワークシート10		
5	前置詞		ワークシート11 (文章作成)		
6	服のお直しのための英語		プリント10、会話		
7	服のお直しのための英語		ワークシート12		
8	服のお直しのための英語		ワークシート12 (文章作成)		
9	服を販売するときの英語		ワークシート13 (会話)		
10	服を販売するときの英語		プリント11		
11	服を販売するときの英語		ワークシート13 (文章作成)		
12	裁縫道具等の英語		プリント12		
13	裁縫道具等の英語		プリント12 (会話)		
14	裁縫道具等の英語		ワークシート14 (文章作成)		
15	復習		ワークシート15		
16	復習		ワークシート16		
17	総復習		ワークシート1~8		
18	総復習		ワークシート9~16		
19	まとめ		後期まとめ		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	パーソナルカラーモジュールII				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科 (ブライダルコース) ファッションビジネス科 (ファッション販売・WEBコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.メンズのパーソナルカラーやパーソナルカラーの応用を学ぶ。 2.実際にパーソナルカラーの問題を解き学習していく。 3.課題を通しパーソナルカラーをファッション・メイク・インテリアに活かす訓練をする。				
学習目標 (到達目標)	1.パーソナルカラーをメイクに活かす 2.様々な配色法や色のしくみを覚える				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	役に立つパーソナルカラー 配色ワークブック 配色カード PCCS配色カード はさみ のり ドレープメイク道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	似た色と似合う色、イエローベースとブルーベースの見極め		指定教科書P18～19、ワークブックP4		
2	明度、彩度、清濁の見極め		ワークブックP5～7		
3	明度、彩度、清濁の見極め		ワークブックP5～7		
4	配色(明度と彩度)、配色法のバリエーション		指定教科書P58～59、ワークブックP8～12		
5	配色法のバリエーション		指定教科書P59～61、ワークブックP12～13		
6	固有感情と表現感情、		指定教科書P58～61、ワークブックP14～17		
7	固有感情と表現感情、パーソナルカラーの分析について		指定教科書P20～37		
8	パーソナルカラー分析診断		ドレープを使い実習		
9	パーソナルカラー分析診断		ドレープを使い実習		
10	パーソナルカラー分析診断		ドレープを使い実習		
11	パーソナルカラー分析診断		ドレープを使い実習		
12	パーソナルカラー活用テク		指定教科書P64～76		
13	魅力を引き出すメイク提案		ワークシート作成		
14	魅力を引き出すメイク提案		セルフメイクで実習		
15	魅力を引き出すメイク提案		セルフメイクで実習		
16	魅力を引き出すメイク提案		セルフメイクで実習		
17	魅力を引き出すメイク提案		セルフメイクで実習		
18	マンセル表色系、色名		指定教科書P44～51、ワークブックP19～21		
19	色彩調和論		指定教科書P52～55		
20	色彩調和論、前期まとめ		指定教科書P56～57		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ワークブック50%、メイク課題30%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ワークブックは時間内に終わらせるように努力すること。わからない所は積極的に質問して欲しい。メイク課題についてはメイクのテクニックより、理解し上手く活用できているかが重要。必ず提出すること。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	パーソナルカラーモジュールII				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科 (ブライダルコース) ファッションビジネス科 (ファッション販売・WEBコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.メンズのパーソナルカラーやパーソナルカラーの応用を学ぶ。 2.実際にパーソナルカラーの問題を解き学習していく。 3.課題を通しパーソナルカラーをファッション・メイク・インテリアに活かす訓練をする。				
学習目標 (到達目標)	1.パーソナルカラーの知識を身につける 2.パーソナルカラーを日常や仕事に活かすスキルを身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	役に立つパーソナルカラー 配色ワークブック 過去問題集 配色カード PCCS配色カード はさみ のり ドレープ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期復習問題		ワークブックP23～32の中から出題		
2	メンズカラーコーディネート		指定教科書P64～76		
3	様々な分野のパーソナルカラー		指定教科書P90～95		
4	4シーズン別コーディネート課題 春 秋		ワークシート作成		
5	4シーズン別コーディネート課題 夏 冬		ワークシート作成		
6	パーソナルカラー問題 基本編		ワークシートP23～32		
7	パーソナルカラー問題 応用編		ワークシートP23～32		
8	パーソナルカラー検定対策学習		指定教科書P104～117、配布資料にて説明		
9	パーソナルカラー検定対策 過去問題		過去問題集、解説		
10	パーソナルカラー検定対策 模擬テスト		テスト50分間、採点と解説		
11	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 春		ワークシート作成		
12	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 春		ワークシート作成		
13	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 夏		ワークシート作成		
14	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 夏		ワークシート作成		
15	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 秋		ワークシート作成		
16	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 秋		ワークシート作成		
17	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 冬		ワークシート作成		
18	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー課題 冬		ワークシート作成		
19	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー 発表		一名ずつ発表		
20	4シーズン別ブライダルパーソナルカラー 発表		一名ずつ発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
模擬テスト30%、ブライダル課題30%、コーデ課題20%、ワークブック15%、 学習意欲5% 成績評価 基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			模擬テストと課題の出来が評価に大きく関わる。課題は全て提出 すること。検定を受けない場合でも対策授業を欠席しないこと。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	着付				
担当教員	風間 美代子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、授業の進め方	和装着付けの基本的な知識を身に付ける。 着物の着付け、名古屋帯の結び方を習得する。				
学習目標 (到達目標)	1. 着装の準備 2. 30分で着物着付け、帯結びが出来る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	和服の話・取り扱い・現場でのマナー	配布プリントの説明			
2	着物・名古屋のたたみ方・セッティング・下着の付け方	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
3	着装前の準備・下着・補正・長襦袢・着物を着せる	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
4	着装前の準備・下着・補正・長襦袢・着物を着せる	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
5	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
6	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
7	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
8	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
9	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
10	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び	実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯			
11	浴衣の着方・着せ方・半帯の結び方	実習（自装・他装）浴衣・半巾帯			
12	浴衣の着方・着せ方・半帯の結び方	実習（自装・他装）浴衣・半巾帯			
13	着付・お太鼓結び	実習・講義・配布プリント			
14	着物、帯の種類・名称	実習・講義・配布プリント			
15	ペーパー試験	ペーパー試験			
16	ペーパー試験	ペーパー試験			
17	実技試験	着付とお太鼓結びを20分で仕上げる			
18	実技試験	着付とお太鼓結びを20分で仕上げる			
19	着付・名古屋帯で変わり結び	実習			
20	着付・名古屋帯で変わり結び	実習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
ペーパー試験30%・実技試験30%・学習意欲20%・提出プリント20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。			
実務経験教員の経歴	着物着付け講師、花嫁和装着付け師30年				

科目名	着付				
担当教員	風間 美代子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.礼装、祝い着、着物、帯の種類 2.留袖、袋帯の二重太鼓の結び方を習得する 3.花嫁衣裳の着せ方				
学習目標 (到達目標)	ミセスの第一礼装を美しく着せる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	着物の種類、帯の種類、礼装について解説		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
2	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
3	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
4	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
5	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
6	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓（袋帯の変わり結び）		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
7	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓（袋帯の変わり結び）		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
8	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
9	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
10	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
11	留袖、二重太鼓の仕上げ、実技試験		留袖の着付、二重太鼓を20分で仕上げる		
12	留袖、二重太鼓の仕上げ、実技試験		留袖の着付、二重太鼓を20分で仕上げる		
13	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		配布プリント		
14	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディに着せる）		
15	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディに着せる）		
16	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディに着せる）		
17	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディに着せる）		
18	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディに着せる）		
19	花嫁着付け仕上げ、シルエットづくり		実習（二人でボディに着せる）		
20	花嫁着付け仕上げ、シルエットづくり		実習（二人でボディに着せる）		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペーパー試験30%・実技試験30%・学習意欲20%・ 提出プリント20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。		
実務経験教員の経歴		着物着付け講師、花嫁和装着付け師30年			

科目名	就職実務 II				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来る自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成 1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成 2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成 3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策 1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策 2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策 3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策 1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策 2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策 3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策 4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレート作成		
12	企業リストアップ 1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ 2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策 1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策 2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策 3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策 4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策 5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	就職実務 II				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	卒業制作				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 企業とのコラボ企画2本柱を基に企業と連携した授業で広告・スタイリングを学ぶ 2. スタイリングを活かしたショー企画を作成しファッションショー形式での発表を行う 3. 卒業制作に向けたショーのプランニングを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	一年次で得た知識に磨きをかけ、クリエイティブなプランニング、企業向けに自分をアピールする作品作り。最新のスタイリングを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショー企画について説明		ショーの企画・全体について説明		
2	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
3	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
4	ショー企画書作成 プレゼン指導		ファッションショー企画書作成 プレゼンテーションコツ		
5	ショー企画書プレゼンテーション審査		クラス内プレゼンテーション審査		
6	ショースタイリング・映像作成		スタイリング制作		
7	ファッションショーフィッティング①		モデルに衣裳フィッティング		
8	ファッションショーフィッティング②		モデルに衣裳フィッティング		
9	演出プラン・メイクプラン作成1		演習メイクプラン企画		
10	演出プラン・メイクプラン作成2		演習メイクプラン企画		
11	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
12	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
13	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
14	ショー用撮影1		ファッションショーのスタイリングを撮影		
15	ショー用撮影2		ファッションショーのスタイリングを撮影		
16	ショー用撮影3		ファッションショーのスタイリングを撮影		
17	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
18	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
19	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
20	最終リハーサル		ショーの衣裳を着たスタイリングリハーサル		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	卒業制作				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 企業とのコラボ企画2本柱を基に企業と連携した授業で広告・スタイリングを学ぶ 2. スタイリングを活かしたショー企画を作成しファッションショー形式での発表を行う 3. 卒業制作に向けたショーのプランニングを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	一年次で得た知識に磨きをかけ、クリエイティブなプランニング、企業向けに自分をアピールする作品作り。最新のスタイリングを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショー企画について説明		ショーの企画・全体について説明		
2	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
3	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
4	ショー企画書作成 プレゼン指導		ファッションショー企画書作成 プレゼンテーションコツ		
5	ショー企画書プレゼンテーション審査		クラス内プレゼンテーション審査		
6	ショースタイリング・映像作成		スタイリング制作		
7	ファッションショーフィッティング①		モデルに衣裳フィッティング		
8	ファッションショーフィッティング②		モデルに衣裳フィッティング		
9	演出プラン・メイクプラン作成1		演習メイクプラン企画		
10	演出プラン・メイクプラン作成2		演習メイクプラン企画		
11	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
12	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
13	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
14	ショー用撮影1		ファッションショーのスタイリングを撮影		
15	ショー用撮影2		ファッションショーのスタイリングを撮影		
16	ショー用撮影3		ファッションショーのスタイリングを撮影		
17	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
18	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
19	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
20	最終リハーサル		ショーの衣裳を着たスタイリングリハーサル		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			